

The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 14th Issue

April 2021

先輩たちの進路

この三月に卒業した国際理解コース2期生23名の進路状況です。

国公立大学 18名合格

名古屋大学	4名 (文、経済)
名古屋市立大学	3名 (国際文化、看護)
愛知県立大学	4名 (外国語、教育福祉)
滋賀大学	2名 (経済)
岐阜大学	2名 (教育、看護)
愛知教育大学	2名 (教育)
三重大学	1名 (人文)



私立大学 (実人数)

同志社大学 3名 南山大学 5名 など多数合格

2期生の皆さん、おめでとうございます。大学でもコースでの学びを発展させ、さらに成長してください。そしていつか、後輩に大学生活や社会人としての経験を話しに来てください。待っています。

後半の講演会まとめ

7月28日(火) 国際連合地域開発センター 泉川雅子さん(本校卒業生)

2年生。「SDGsとUNCRDの活動について」という題でZoomによるオンライン講演を行っていただきました。生徒たちは「国連の日本人職員の割合が少ない！なんとかしなければ」など感想を語っていました。

10月15日(木) 本校非常勤講師・元外交官 杉本尚美先生

「働くということー外交官という仕事ー」

1年生、国際理解講演会として実施。オランダでの外交官経験を中心に、多くの写真や当時のニュース番組のビデオを交え伝えてお話いただきました。日蘭間には戦時中の悲しい歴史があります。先生が広



報担当をされた、日蘭交流400年記念事業での天皇皇后両陛下のオランダ訪問は、その歴史を双方が乗り越える大きなチャンスであったことを知り、外交官という仕事が平和に大きくかかわっていることを認識しました。

11月12日(木) 元国際公務員 近藤敏夫先生

「国際社会での“輝き方”を共に考える」2年生

近藤先生には毎年来ていただいています。英語で国際社会に貢献するためには、専門分野を磨き、日本人ならではの良さを武器とすべし、という内容にはいつも励まされます。授業が終わってから「個人的に相談したい」と走って先生を追いかける生徒もいました。来年も来ていただけるのを楽しみにしています。

台南一中とのオンライン交流会



台湾への修学旅行は中止となってしまいましたが、西高と台南一中との絆を切らさないようにと、10月21日にオンライン交流が実現しました。初めての試みで不安はありましたが、全体会およびグループに分かれての交流を終えることができました。生徒の交流はすべて英語で行われました。写真はグループ交流時のスマホ画面です。これ

をきっかけにLineなどで台湾の高校生と個人的なつながりもできたようです。

課題研究スタート～新しい試みも～

11月12日、2年生(3期生)の課題研究がスタートしました。本年度より卒業生とZoomで繋ぐ試みが開始され、生徒の説明を受けて先輩が問題点を整理し、新たな視点や資料を示してくれました。また、卒業生が的確にアドバイスをする姿を見て、教員一同大感激。3期生は3月にグループおよびクラス発表、4月に国際2年生に向けて、そして6月に1年向き発表へと研究を深めていきます。